



特定非営利活動法人 女性技術士の会 ニュースレターvol.7

東北地方太平洋沖地震により被災されたみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。また、放射性物質による風評被害は農水産物、工業製品ばかりでなく、避難されている方々や地域の方々も苦しめる結果となっています。私たち技術者は適切な判断と冷静な行動をし、一日も早い復旧・復興となるよう想いを寄せていきたいと思ひます。

.....

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第7号では、2011年1月～3月の活動内容、会員からの発信、リレーエッセイ、部会報告、今後の活動予定などをお届けします。また、新たに「技術士をめざして」というコーナーを設けました。技術士を目指す女子学生を応援する記事を載せていきたいと思ひます。

CONTENT

活動内容		2 ページ
2011/02/05	新年会	2 ページ
2011/02/19	第9回技術サロン (WPETF 活動への協力)	2 ページ
2011/03/11	INWES-Japan の活動	3 ページ
会員からの発信		3 ページ
佐藤厚子さん	ちょっと前に勉強したこと	3 ページ
リレーエッセイ		4 ページ
角田ふで子さん	会社を辞めてから	4 ページ
部会報告		6 ページ
2010/12/13	第5回企画部会報告	6 ページ
技術分野の女性ネットワーク (建設経済新聞コラム欄)		6 ページ
今後の活動予定		6 ページ
2011/05/21	第4回通常総会	6 ページ
2011/10/13	第5回日韓女性技術士交流会	7 ページ
2011/07/19~22	ICWES15 (第15回国際女性技術者・科学者会議)	7 ページ
技術士をめざして		7 ページ
増永佳乃さん	技術士を目指しながら、素敵な出会いがぽぽぽーん	7 ページ
	技術士一次試験合格祝賀会 (日本技術士会)	8 ページ

活動内容 (2011/1 ~ 2011/3)

■ 新年会

2月5日(土)ランチタイムの新年会が、目黒駅ビル内の謝朋殿にて行われました。

出席者は、関矢監事、岩熊、酒井、氷上、角田、木村(弘)、原田、松村、廣瀬、千木良、藤井、石田の12名。

お互いの近況報告のあとは、中高生の理科離れのことや社会の仕組みのことなど、話題は尽きませんでした。なお、この場で関矢監事からはタイムリーに「ダイナミック・アート研究所」(<http://www.dyart.jp/tec/tec-top.htm>)のご紹介がありました。これは金澤磐夫技術士(機会部会)が私費を投じて造られた会館で、金澤さんが収集されたからくり機器や本が展示され、またお茶室やホールもあります。

■ 第9回技術サロン(WPETF活動への協力)

◆ 日時: 2011年2月19日

◆ 場所: 第2葺手ビル B会議室

◆ 主催: 社団法人日本技術士会
登録グループ WPETF

◆ 参加者: プロジェクト側 岩熊、石田、
千木良、笹尾

ゲスト 修習技術者支援実行委員会
井原博之顧問

一般参加者 女子学生2名、社会人2名

◆ 経緯: WPETFの主な活動目的の一つである女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、JABEE課程と技術士制度の説明及び先輩女性技術士との懇談を企画したものです。平成20年11月に初回を実施し、同企画で第9回目となります。

◆ 目的: JABEE課程履修及び技術者を目指す女子学生が、卒業後の技術者としての自分の姿を思い描き、学校での勉学をもとに、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見交換をする場を提供することを目的としています。

◆ 概要:

1. 「『技術士』資格に関する説明」(笹尾)

技術士とは何か、JABEE課程と技術士制度の関係などの基本的な事項や、女性技術士の状況(登録人数、近年の合格者数)について説明しました。「技術士」をまったく知らない参加者もいましたが、技術士への理解を深めていただけたと思います。

2. フリーディスカッション

自己紹介カードなどを使用したアイスブレイクの後、学生や若手技術者の悩みや質問にホスト側が答え、意見交換を行いました。女性技術士からは、経験談や経験に基



づく対応策などが出され、ゲストの井原顧問からも先輩技術者として参考意見をいただきました。若手技術者からも様々な経験談が紹介され、本サロンがこうした若い人たちにとって有意義な場として根付いてきていると感じました。

INWES-Japan の活動

22 年度は、国内では夏の学校・サイエンスアゴラへの参加と土浦二高への出前講演等、主に若い世代を対象とした「理系に行こう」の活動が多くありました。国外では日中韓指導者フォーラムに参加し日本の女性科学者技術者の活動を報告すると共に INWES 本部の主催のボードミーティング参加等の活動を行いました。

今年度は ICWES15(国際女性技術者科学者会議)の実施年なので活動が活発になります。INWES-J としてはポスタープレゼンで我々の国内での活動(学生向けの理系への新学就職活動)を紹介する予定です。今年の ICWES 参加のもう一つの目的として INWES-J を構成する当会と JWEF(日本女性技術者フォーラム)のより一層の親睦を深める事があります。現地で親睦を深めるイベント等を計画中です。

国内活動はサイエンスアゴラ・出前講演等場活動は引き続き行う予定です。国際活動は上記 ICWES と韓国で開催される日中韓指導者フォーラムへの参加も予定しています。

昨年末に INWES-J 構成メンバーの見直しを行いました。当会から 3 名、JWEF から 3 名の運営委員が選出され、都河会長のもとで 7 名を基本に活動することとなりました。構成団体である JWEF と当会の代表者は顧問となります。メンバーの改正は今後 2 年毎に行っていくこととなりました。

* 運営委員会開催 2010 年 5 月 26 日(水)、9 月 20 日(月)、11 月 15 日(月)
2011 年 3 月 11 日(金)

* 運営委員 代表 都河明子

女性技術士の会 井本郁子、木村了、久保奈美、岩熊真起(顧問)

女性技術者フォーラム 菅原香代子、西田薫、中野亜久、田中幸子(顧問)

会員からの発信

佐藤厚子さん(建設部門・総合技術監理部門)「ちょっと前に勉強したこと」

ちょっと勉強するまで、私は世の人は、みんなほめられたり頼まれると嬉しいものだと思っていました。だから、今回、笹尾さんからどんな内容でもいいから文章を書いて、と連絡があったときは大変嬉しかったです。

それが、世の中そんな人ばかりではないということを勉強する機会がありました。技術士会北海道支部青年技術士交流委員会では、1 年に数回研修会を実施しています。その中で 2009 年秋に実施された「タイプ分けコーチングの基礎」に参加しました。そこでは、世の中には 4 つのタイプの間があるという話がありました。4 つのタイプとは、「支配・管理型(ガバナー)」、「増進・助長型(プロモーター)」、「支持・援助型(サポーター)」、「分析・戦略型(アナライザー)」です。頼まれたり、頼られたりしたら嬉しい人はプロモータータイプらしいです。

この研修では、はじめにアンケートをしてその答えの傾向から、参加者を各タイプに分



佐藤厚子さん

けて、話を聞きました。対象が技術士でしたので、ガバナータイプが多いのかなと思いました。しかし、見事なくらい4つに分かれました。ちなみに私はほめられたり頼まれると嬉しいタイプなのでプロモーターでした。

ガバナータイプになった人の中には、別な会で知り合った人もいて、やっぱりガバナータイプぴったり、なるほどです。いつもびしょと仕切っている感じです。このタイプの人と話をすると、日常を含めいつも安心します。ちなみにこのタイプの方は、人の話を聴かず、結論を急ぐらしいのですが、アイデアが豊富で創造力もあるとのことでした。

プロモータータイプの方は、細かいことはあまり気にとめず、時にうぬぼれやお調子者で、よく笑い、あきっぱいらしいです。確かにその通りのような気がします。このチームの話し合いでは、講義の先生からプロモータータイプの方は・・・のような話があってもすべて「そう、そう、そのとおり」で一致していました。いったん頼まれると出来はどうであれ、何でもやってしまいます。もおだてりゃ木に登るという言葉は私にぴったりです。

技術士の中にサポータータイプがいるというのは正直驚きでした。以前、小学校のPTAクラス役員の引き受けを頼む係をやったときに、まずは役員をできるかどうかを聞くために電話をかけました。役員できますか？と聞くと「できません」といわれます。何か用事があり忙しくてできないんだなと思い、また別な人に電話して、引き受けてくれる人を探しました。クラス全員のお母さんに電話をしても誰もできないということでした。ところが、次のクラス会議があったとき、やってもいいという人がいました。えーっ！私が頼んだときはできないっていったのに、別な人が頼むと引き受けるんだ・・・。

この会議ですっかり気分が優れなくなり、二度と人に頼むPTAの仕事はしなないと思いました。でもこの技術士会の研修会のあとにわかりました。この役員を引き受けた人は、サポーターであったということ。そういえば、一緒にやろうっていつくれたから引き受けることにしたとっていたことを思い出しました。サポーターは人の影になり働くことが嬉しいらしいです。私の誘い方が悪かったのです。一緒に役員をしようと誘えばよかったのです。人のために働くことに喜びを感じる人がいるって考えられません。

アナライザーは、何でも分析してからでないし行動しない人です。なので、ほめられたり頼まれたりするとどうして、そうするのか理解できなく、ほめられたり頼られたりすることに疑いを持ち、私たちのように嬉しくないそうです。あまり感情を表に出さないため、物事に対して関心がないように見え、細かい分析や戦略プラン立案などの役割が得意。失敗や間違いが嫌いで粘り強く最後までやり遂げる人らしいです。私の個人的な考えですが、技術士に多いかもしれせん。

私は、この研修会で勉強して、人と接するときには少しはその人のことを考えることができるようになった気がします。勉強は大切ですね！！みな様はどんなタイプですか？

リレーエッセイ

■ 角田ふで子さん（環境部門）「会社を辞めてから」

あれは5年前、勤めていた研究所が移転して、片道2時間（雨の日はバスを使うと3時間！）かかるようになりました。そこにしばらく通ったら突然の手術。その次は子供の手術。そして、子供の高校入試。引っ越して職住接近という考えも、子供の入試を考えると



角田ふで子さん

子供に負担をかけることになりそうなので無理。でも、あの通勤時間をずっと続けるのは耐えられないという精神状態だったので、辞めてしまいました。

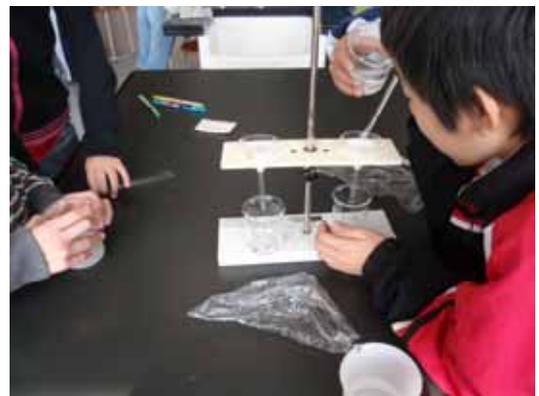
辞めてしばらくは、会社時代流されるままにやったことのある地域の子育て会役員、そして小学校の PTA 本部役員をやりました。前回やった時には、波風を立てないように終わらせてしまいましたが、今回は時間があつたので、アンケートを取ったり、「余計な仕事は減らしましょう」と役員仕事を減らしたり、「役員仕事は楽しいわよ」と特典を設けて役員の成り手を増やそうとしたり、楽しくやりました。

そんなことに関わりながら、子供を取り巻く状況を垣間見て、子供が楽しく成長できる環境をつくるお手伝いをしようかと思い、たまたま見た市の広報に載っていた「小中学校理科支援ボランティア募集」に応募してボランティア活動に入りました。

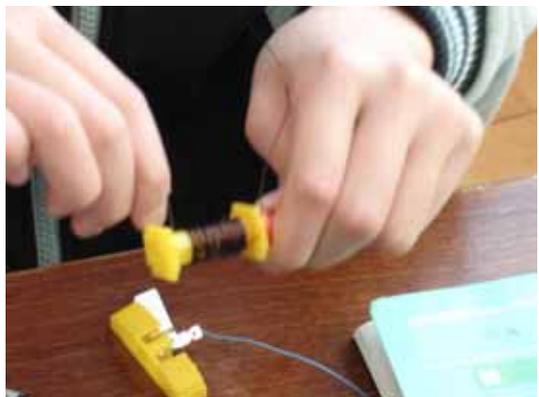
最初のうちは、見知らぬ人が入ってきたという警戒感からかあまり反応はありませんでしたが、実験を補助していくうちに、「理科が好きなんだよ」「大きくなったら生物学者になるんだ」などと教えてくれました。ただ、そう言う子供はみんな男子ばかり。女子で理科好きと言ってきてくれる子はいません。女子で理科好きは小学校では特殊なのでしょうか。理科好きは可愛くない？オタクっぽくて浮いちゃうのかしら？

でも、女子の実験遂行能力は見てみると高いですね。テキパキと実験を進め、データを取っていました。男子は、試薬は舐めるは、ビーカー割るは、大騒ぎでしかもあれこれ興味の向くままに違う実験になることもしばしば。そういう男子も工作関係は得意で、電気回路をあっという間に作り上げ、女子を手伝っていました。

どの子も自分が発見したことには「おお！」という感じで反応していたので、みんな理科を楽しんでいるようです。この気持ちを進路を決める高校まで持ち続けられるかが、理系に進んでくれるかどうかの分かれ道なのかなと思います。中学生になると楽しいばかりの実験ではなく、正しいデータを取ることが要求されてきます。そうすると、つまらないあるいは面倒という様子も見えてきます。理解しながら楽しめる授業とはどんなものか、特に中学校の先生たちは苦労されているようです。私としては、子供たちに「理科っておもしろいのよ、役に立つのよ、理系に進んでね」とささやきながら、支援を続けていきたいと思っています。



ろ過操作 「水がきれいになった！」



コイル作成 エナメル線と格闘中



クリップを釣り上げて電磁石体験中

部会報告

第5回企画部会報告

- ◆ 日 時：2011年2月28日(月) 19:00～22:30
- ◆ 場 所：淡窓庵事務所
- ◆ 参加者：酒井、青木、犬走、久保、鈴木、吉川
- ◆ 概 要：
 1. 理事会報告(HPにて掲載)
 2. ICWESポスター(アンケート結果)作成の検討
 3. 来年度の企画部実行計画づくり案
 4. その他

- (1) 今年度の企画は、「楽しい、おもしろい」をテーマとする。
- (2) 企画内容について、技術士の認知度を上げるよう工夫する。

技術分野の女性ネットワーク(建設経済新聞コラム欄)

建設関係専門の新聞である建設経済新聞のコラム欄にて、「NPO 法人女性技術士の会」の紹介記事の連載が始まりました。

内容は各界で活躍する当会の女性技術士の活躍を紹介するものですが、仕事だけではなく女性技術士の生活や趣味、夢なども語られています。連載は毎月1回で、4月号は農業部門の木村了さんが担当しました。これから先もなるべく多くの会員を紹介したいので、皆様奮ってご応募ください。

応募先：総務・事務局 soumu-pelady@freeml.com

今後の活動予定

第4回通常総会

- ◆ 日 時：2011年5月21日(土) 14時から
- ◆ 場 所：大田区産業プラザ Pio
- ◆ 内 容：

通常総会への出欠の回答を
5月13日までに返信してください!
また、総会案内が届いていない方は
その旨お知らせください。

「平成20年12月1日に特定非営利活動促進法が改正(施行)され、総会欠席者は、電磁的方法(電子メール等)により表決権の行使が行えるようになりました。本法人も、定款を変更し、東京都にて認証手続きを行い、認められましたので、今年度から、総会に関する手続きを電子メールにて実施します。会員の皆様には、電子メールにて総会資料及び出欠案内を送りますので(4月29日送信予定)出欠の回答を電子メールにてお願いします。

総会と言うまでもなく、事業計画や予算の承認等、法人にとっては最も重要な会議です。欠席の場合(正会員)は、欠席の回答とともに、表決権の行使をお願いします。なお、今年度は総会に続き、会員の皆様の考えや要望等について、意見交換を行うことになりました。これは、NPOとしての活動が5期目に入ることから、本法人の活動をより発展させることを目的としています。また、あわせて懇親会も計画しています。

皆様には、総会に参加していただき、NPO活動への意見をお聞かせいただきたく願います。協力会員、賛助会員の皆様も是非ご参加ください。

第5回日韓女性技術士交流会

- ◆ 日時：10月13日（木）15:00～
- ◆ 場所：大邱広域市 EXCO
- ◆ テーマ：自然および人工災害対策と技術士の役割

参考）第41回日韓技術士会議：
10月14日（金）合同シンポジウムおよび分科会
10月15日（土）テクニカルツアー

ICWES15（第15回国際女性技術者・科学者会議）

今年は3年に1回開催される International Conference for Women Engineers and Scientists “ICWES” の年です！当会からの申し込み者数は現在11名！申し込みがまだの方、奮ってご参加ください。

- ◆ 日時：2011年7月19日（火）～22日（金）
- ◆ 場所：オーストラリア アデレード コンベンションセンター
- ◆ 対象：女性技術者・科学者
- ◆ 参加申し込み期限：2011年5月15日（日）までの申し込みは割引価格となります。詳細は、ニュースレターvol.6（HP掲載）をご覧ください。

技術士をめざして

増永佳乃さん（農業部門）「技術士を目指しながら、素敵な出会いがぽぽぽーん」

初めまして、この度原稿を書かせていただくことになりました増永と申します。拙い文章ですが、自己紹介を交えながら技術士資格について、記させていただきます。

私は秋田県大潟村で生まれ育ちました。大潟村とは、1960年代に食糧増産を主目的として行われた干拓事業によって誕生した村です。干拓地の中でも大潟村は、生産機能だけでなく生活機能も含めて一体的に計画・建設された村であるという特長があります。このように面白い村なのですが、子供の頃は「村とか田舎だし、農家なんてダサくて...ウチめっちゃかっこ悪い！」と思っており、村を離れるため高校入学時に自ら望んで下宿生活を開始しました。しかし今までよりも人脈が広がった高校生活で、自分が育った大潟村がいかに特殊で面白い村かを気付かされ...いつのまにか農学部に属しておりました。さらに農学部でも大潟村の面白さを教わり、ついには農村計画を専攻するまでに至っております。5、6年で人生観が150°くらいは変わりました。



増永佳乃さん

この“大潟村”は、私と多くの技術士を引き合わせてくれました。

最初の出会いは、私が技術士を目指すきっかけとなるものでした。その方は製図の講義の講師としていらっしゃった女性技術士の方^{注1)}です。講義では技術士資格の存在を教えてくださいましたが、そのときは技術士資格よりも先生のパワフルさにただ圧倒されておりました。しかし先生のお父様が大潟村の建設事業に関わっていたことから、ぽぽぽぽんとお話はずみ、先生を通じて技術サロン^{注2)}に参加させていただきました。そこでは先生と同じくらいエネルギーな女性技術士の方に出会うことが出来、その方たちへの憧れが技術士第一次試験受験に繋がったのです。

注1) NPO 女性技術士の会会員です。

注2) NPO 女性技術士の会が共催する、女子学生支援のための技術サロンです（本ニュースレターの活動報告参照）
（注釈はニュースレター編集担当者による）

第一次試験を農業部門で合格した後の第一次試験合格者祝賀会でも、多くの先輩技術士との出会いがありました。中でもめぐり合わせに感動した出会いは、私の祖父（入植者）を知る K 先生と出会えたことです。不思議なことに、祖父が他界した日はまさに K 先生と出会った夜でした。

今になって思うと、大潟村に入植した祖父から「出会い」というプレゼントを貰ったような気がしています。

技術士を目指す者として今後どのように活動していくかはまだ想像できず、計画学について幅広く携わりたいと考えています。

これから先の人生がどうなるのか、今は就職活動中のため不安もありますが、それ以上に、どんなヒト・学問に巡り合えるのか...楽しみにしている自分が居ます。この余裕が吉と出るか凶と出るか。吉にすることが目標です。先輩技術士の皆様、よろしく願い致します。



大潟村の航空写真
 広大でまっすぐな道が自慢です

技術士一次試験合格祝賀会（日本技術士会）



第一部の講演会 約 230 人が参加

1月29日(土) 品川コクヨホールで平成22年度技術士第一次試験合格者・JABEE 修了見込者ガイダンス（一次試験合格祝賀会）が開かれました。第1部はオリエンテーションとして 技術士資格取得へ向けた講演やパネル討論、第2部は交流会で先輩技術士やこれから技術士を目指す仲間との懇親の場が用意されました。併行してポスター展示会場では 各部会や登録グループ・関連団体の紹介がありました。

当会からも WPETF や修習技術者支援実行委員会・青年技術士交流実行委員会などに多数のメンバーが参加しました。

女性技術士の数は、少ないながらも H15 から H22 まで、348 人(0.73%)から 701 人(1.23%)と確実に増加しています(下表参照)。この会でも、多数の第一次試験合格者、JABEE 修了見込者と会うことができました。皆さんから技術士を目指す強い意気込みを感じると共に、周囲に仲間が少ないという声を多く聞き、当会の存在意義を強く意識させられました。



WPETF によるポスター展示

技術士登録者数																							
平成15年度末			平成16年度末			平成17年度末			平成18年度末			平成19年度末			平成20年度末			平成21年度末			平成22年度末		
総数	女性	比率																					
47,561	348	0.73%	47,566	365	0.77%	48,735	417	0.86%	50,096	464	0.93%	50,796	485	0.95%	53,776	585	1.09%	56,098	665	1.19%	57,086	701	1.23%

お知らせ：日本技術士会は、平成23年4月11日付けにて公益社団法人となりました。

ニュースレターについてのご意見・ご感想はこちらまで：info@pej-lady.org

2011年第2号 通巻第7号 発行責任者：特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 岩熊まき